

花野たより

NPO法人阿蘇花野協会会報誌
VOL. 7号 2006年11月30日発行

2006. 冬号

草刈り、草集め、お疲れさまでした

ナショナルトラスト全国大会に参加
鳥取大会参加レポート

●理事リレーエッセイ

●今後の予定



草刈り、草集め、お疲れさまでした！

毎年秋のハードな作業、草刈りと草集め。今年は、10月15日(日)に草刈りを行い、1週間後の10月22日(日)に草集めを行いました。草刈りには19名、草集めには26名の参加者が集まり、無事に予定作業を終えることができました。ご参加の皆さん、お疲れさまでした。

今年はかなりの面積を地元の方に作業委託したこともあり、私たちの作業地は昨年よりもだいぶ少なくなりました。そのために、草刈りはぐんと楽になったのですが、だからといって草集めも楽になるかというさにあらず。農作業を甘くみてはならないことを、今年もまた学ぶ結果となりました。

ともあれ、1名のケガもなく作業を終えたことがなによりです。さて、来春には野焼き。この草原がどのような花野へと変貌していくのか、楽しみにしましょう。



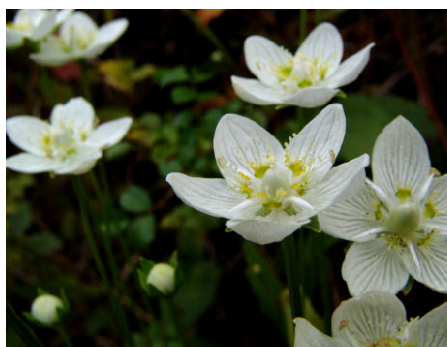
▲草刈り参加者

▼草集め参加者



花、咲いてました。

草集めの時、稲益理事が撮影された花々です。このウメバチソウのきれいなこと。ところで、稲益理事は「阿蘇望亭アルバム」というHPを運営されています。おすすめ！
www6.ocn.ne.jp/~asobotei/index.htm



▲ウメバチソウ



▲ムラサキセンブリ



▲リンドウ

「ナショナル・トラスト全国大会」参加レポート ～松葉ガニに誘われて～

日程：11月11日～12日
報告：理事・山森英雄

朝4時に帯山事務所を出発、目的地は650キロ先の鳥取です。丸尾、吉川、中山、上妻、山森誠、私の6人が車に乗り込みます。鳥取までの距離を考えると二の足を踏んでしまうんですが、大会の案内に書かれた「カニ料理の交流会」の文字が気になって…。

ナショナル・トラスト全国大会は、財団法人日本ナショナル・トラスト協会がトラストを実施している場所です。今年も鳥取が会場に選ばれ、阿蘇花野協会に対して団体報告の依頼がありました。

9時間半後の午後1時半に鳥取駅前会場のようやく到着です。リハーサルのため先に会場入りした瀬井先生と合流。山中副理事長も会場に駆けつけて頂きました。鳥取県民ふれあい会館のホールには200人程が集まっており、新聞社やNHKなどマスコミも来ていました。実は大きなイベントだったんですね。

日本ナショナル・トラスト協会の愛知和男会長に続いて、地元でNPO岩美自然学校を運営する澤健一理事長が挨拶。その後、環境省の自然環境局長、片山鳥取県知事からの祝辞が続きます。

再び澤健一理事長が壇上に立ち3項目から成る「鳥取宣言」をアピール。1つ「美しい自然や貴重な歴史的資産を私達の大切な資産として守り再生し、子どもたちや将来の人々に手渡していきます」。2つ「自然や歴史的資産と地域経済との調和をはかり、自然と共に生きる持続可能な社会を構築します」。3つ「鳥取におけるナショナル・トラスト運動を発展させ、県内のネットワークを構築します」。なるほど「歴史的資産」か。トラスト運動って、自然だけではないんですね。

さあ、いよいよ団体報告。阿蘇花野協会を含む3団体が報告しました。1番目が知床100平方メートル運動です。知床半島は「日本列島改造論」などで開発の嵐が押し寄せた際に、トラスト運動がスタートとした歴史的に意義がある場所だそうです。斜里町役場がやっていて発表者も助役さんでした。行政が進めるトラスト運動として注目され、全国からのべで4万9千人が参加、5億2千万円もの資金を集めています。

続いて、NPO阿蘇花野協会です。瀬井先生が草原の消滅と野の花の危機の現状、野の花を守ろうと立ち上がった協会の取り組みを写真を使って説明。3団体の中で最もトラスト運動的な報告でした。瀬井先生、お疲れ様でした！



瀬井先生の報告

最後が蔵造りの町並みで知られている埼玉県川越。旧市街地が衰退し蔵造りの取り壊しが相次いだ時に歴史的な町並み景観を保存しようと若手の商店主が立ち上がったそうです。これもトラスト運動の一つなんですね。会場で受け取ったパンフレットには、ナショナル・トラスト運動とは、「野放図な都市化や開発の波、そして相続税対策による見切り売りなどから、貴重な自然環境や歴史的建造物などが破壊されるのを防ぐため、国民から広く寄付を募って、その土地や建造物を買収したり、寄贈を受けたり、あるいは保存契約を結んだりして、保存、管理、公開し、後世に残していこうという市民運動」とありました。最後に、作家の椎名誠さんの講演で1日目は終了しました。

さてカニ料理の交流会は…。到着するのが遅れたため憧れの「松葉ガニ」をほとんど食することが出来ず。しかし、阿蘇花野協会としてはカニの代わりに鳥取の人を味わうことが出来ました。そのお一人は、鳥取県の片山善博県知事。

「潮谷知事がお世話になっています」と挨拶に行くと、「私は2年半、熊本県民だったんですよ」とニコニコ。自治省に入って直ぐ、熊本県庁に出向。2年半の間、地方課に在籍し県内全ての市町村を回ったそうです。健軍自衛隊の近くで新婚生活をスタート、長男も熊本産ということで、熊本に対する愛着は凄い。是非、また熊本に遊びに来てください。



もう一人は大会事務局長の山中英雄氏。そうなんです、私と一字違い。会ってみてビックリ、まさに漫才師です。「チツキチー」の大木こだま師匠にそっくりで、メチャクチャ面白い。経歴を聞くとヤッパリ只者ではない。吉本興業で2年間漫才をした後にUターンで鳥取県庁に就職、10年後には独立して人材派遣会社を設立。後で調べたらテレビ局の番組審議員などを務める重要人物だということがわかりました。

で、カニは…。山中師匠に美味しい店を教えてください、松葉ガニをはじめ日本海の魚介類を堪能！山中師匠、ありがとうございました。片山知事も誘っていただき阿蘇で一緒に野焼きをやりましょう。

鳥取に行って感じたことは、日本におけるナショナル・トラスト運動の方法はバラバラで、現時点では「阿蘇モデル」を作らないといけないということです。頑張りましょう。



花野協会理事リレーコメント

ダマされたと思って！・・・？

理事 吉川栄一

阿蘇花野協会会員の皆さんこんにちは、理事の吉川です。本職が会計士という関係から、協会では会計担当理事を仰せつかっております。思い起こせば、高校の同級生だったY理事(あえて名前は伏せましょう)からNPO法人の会計顧問就任を打診されたのが約2年前。それが翌年の3月にはなぜか理事として(ちなみに顧問は報酬をいただけますが理事は無報酬です)、吹雪のなか草刈機を抱えて防火帯作りをしていました。顔に当たる雪の痛かったこと！

しかし、その後の野焼きを経て春、夏と野草が帰ってくるのをみると、苦労が報われた感じがして、気がつけば活動にズッポリはまり込んでます。

騙されるのって、意外といいことかも・・・。

最後に会計担当らしいことをひとつ。来年度は晴れて認定NPO法人の申請ができるようになりますので、法人会員獲得に向けて努力したいと考えています。皆さん年会費はお早めに！

INFORMATION

2007年春の活動予定

草刈りや草集めも無事に終わり、阿蘇は本格的な冬に突入しました。

当分は、阿蘇での活動はお休みとなります。

さて、一般会員の皆さんに参加していただける次の活動は、来春3月の野焼きやその準備作業となります。また、同じく3月には、熊本空港において「阿蘇花野写真展」を開催する予定。これは日本ナショナルトラスト協会および自然保護助成基金が運営する「トラスト地助成制度」の第1回助成先に当協会が選ばれたことを記念して開催するものです。まだ詳細な日程は決まっていますが、決定次第、メール等にてお知らせいたします。お時間がある方はのぞいてみてください。

■防火線づくり 3月4日(日) ※予備日 3月11日

■野焼き 3月18日(日) ※予備日 3月20日

※防火線づくりや野焼きについてはあらためてメール等にて参加を募り、事前に参加者を確定した上で実施いたします。

発行



NPO法人

阿蘇花野協会

〒862-0924 熊本市帯山7丁目1番60号 TEL&FAX 050-6620-8306

「花野たより」は年4回発行していく予定です。会員の皆さま、今後ともよろしくお願いいたします。編集部へのご意見・ご要望、励ましなどはメールでよろしく。

mor7@orange.ocn.ne.jp(広報担当:森)